

令和2年度第5回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和3年2月10日（水） 15：10～16：40
- 2 場所 湖南高等学校 図書館
- 3 参加者  
委員（敬称略・順不同）  
小山伝一郎、佐藤忠男、満田仁一、桑名秀一郎、鈴木勝美、阿部洋平、  
石田慶仁、薄良枝、和田祐樹、酒井祐治  
事務局  
遠藤潤、渡辺延幸、熊谷明彦、渡邊大典、鈴木さゆり、渋川敦志  
オブザーバー  
阿部昭（福島県県中建設事務所主任主査）  
松本拓馬（福島県県中建設事務所技師）
- 4 内容
  - (1) 開会のことば 遠藤潤教頭
  - (2) 会長あいさつ 小山伝一郎会長  
先日の除雪ボランティアでは生徒たちに大変お世話になった。活動の様子はメディアでも取り上げられ、素晴らしい笑顔を見ることができ、感動した。本日の協議もよろしくお願ひしたい。
  - (3) 校長あいさつ 酒井祐治校長  
除雪ボランティア後の生徒の言葉を聞くと、生徒の地域に対する理解が進んだと捉えることができる。今年度、本校のコミュニティ・スクールや学校運営協議会は活発な活動や意見交流ができていり。今年度は様々な意見を踏まえ、「蕎麦プロジェクト」を行ってきたが、次年度は継続するものは残しつつも、全てそのまま踏襲というわけにはいかない。本日が最後の協議会となるが、次年度に向けて様々なご意見を頂戴したい。
  - (4) 協議

①第4回学校運営協議会議事録について（遠藤潤教頭）

資料参照

- ・意見等、特になし。

②学校評価アンケート結果（遠藤潤教頭）

資料参照

- ・生徒・保護者共に学校生活の満足度は高い
- ・おおむね良好な結果だが、学力向上の点などにおいて課題もある

③湖南地域ホームステイ制度を考えるワーキンググループ（小山会長）

- ・ワーキンググループに名簿にある8名の方をお願いしたい。
- ・湖南地域活性化を踏まえ民宿経営経験者などから選んだ。
- ・名簿の方には内諾を得ている。積極的な参加が期待できる。

④「蕎麦プロジェクト」レシピコンテスト結果と6次化への今後の予定  
(熊谷教諭)

資料参照

- ・今年度は教員主導で進めてきたが、次年度は生徒主導で進めていきたい。
- ・次年度の計画について、ご意見をいただきたい。

(意見交流)

- ・蕎麦の種まきは8月下旬では遅い。夏休み中の登校日の設定なども含めて検討されたい。複数の日程案を作ったほうが良い。
- ・開発までは良いのだが、その先をどのように見通すかが重要。  
→次年度は地域イベントでの製造・販売まではいきたい。  
→メニューによっては、必ずしも生徒が作ったそば粉を使うとは限らない。
- ・蕎麦プロジェクトは学校カリキュラムの中ではどのような位置づけなのか。  
→次年度は「総合的な探究の時間」に組み込みたい。

⑤湖南エール隊（ここおた）（遠藤教頭）

- ・次年度も引き続き、応援をお願いしたい。

⑥行ったり来たりしませんか（渡邊教諭）

- ・地域の年間計画と学校の年間計画をすり合わせて、お互いが参加で

きるようにしていきたい。

⑦湖南高校と湖南町がよりつながりを深め、ともに魅力の向上を図っていくためのアンケート結果（熊谷教諭）

資料参照

- ・生徒・教員・委員から様々なご意見をいただいたので、これらを活用していきたい。

（意見交流）

- ・地域と高校で何を指してやっていくのかを定めるのが肝要ではないか。「交流」の後、具体的に何をするのかを設定したい。
- ・生徒たちが地域の課題を真剣に考え、取り組むようになるのが大きな目標である。
- ・地域のことを高校生が考えてくれるのはありがたい。
- ・地域の祭りなどに高校生に参加してもらえるとありがたい。
- ・学校としても SNS を積極的に活用し、町を PR していきたいと考えている。
- ・地域としても、各種イベントの中で高校生が活躍できる場を提供できるようにしたい。
- ・県中建設事務所してもできる限りの情報提供はしたいと考えている。  
（オブザーバー意見）

（5）閉会のことば 満田仁一氏

（16:40 終了）